

木製パレット

一般社団法人日本パレット協会

概要

- 日本でパレットの利活用が始まったのは、第二次世界大戦以降になります。木製平パレットがまず普及しました。当時の状況は「パレット＝木製パレット」でした。



【記録映画：二十年後の東京】
東京都 都市計画課 製作（1947年
／昭和22年）の東京港が映る場
面で、パレットが確認できます。

- 現在、パレットはプラスチックや金属等様々な素材があり、木製パレットの生産数は減少傾向にあります。しかし、年間3,700万枚程の木製パレットが生産されており、パレットの総生産数の約6割を維持しています（協会統計）。

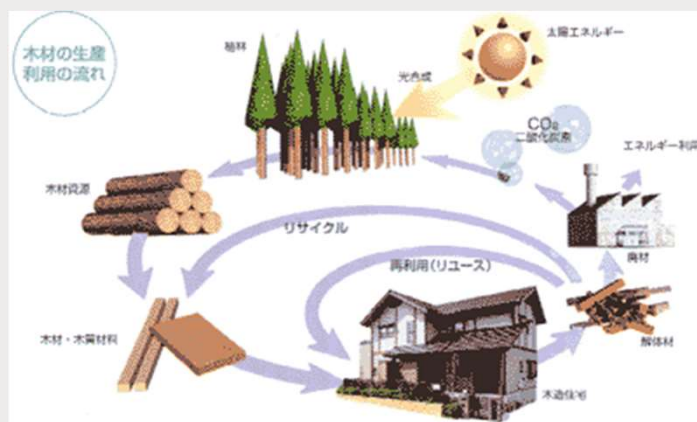


- 木製パレットは、シンプルな構造であるため、様々な仕様のもを比較的容易に製造可能です。そのため、様々な形態の輸出貨物や種類（サイズ）の多い製造物等で大量に使用されています。

環境にやさしいパレット = 木製パレット

- 木材は、再使用や再利用できるのはもちろんですが、さらに、森林から再生産することができる貴重な資源です。適切な量だけ使うこと、伐ったら植えて育てること。これを繰り返し行うことでいつまでも枯れることなく使い続けることができる資源なのです。

林野庁HPより
文書&イラスト
を抜粋



- 持続可能な開発目標 (SDGs) というグローバルな動向を考慮すれば、木材を使用する木製パレットこそ、「環境にやさしいパレットの代名詞」という表現が可能です。

一般社団法人日本パレット協会 木製パレット関連会員

樽谷包装産業株式会社

北越パレット株式会社

永井木工株式会社

日本パレットレンタル株式会社

北辰機材株式会社

山室木材工業株式会社

ユーピーアール株式会社

株式会社ロジス・ワークス

シーエスジャパン株式会社

王子木材緑化株式会社

株式会社サトウ

横山工業株式会社

三栄実業株式会社

株式会社マツイ工業

トーヨー木材工業株式会社

有限会社デポネット中部

西野パレット工業株式会社

株式会社S A S A K I

日進パレット株式会社

株式会社ペーパーハウス社

株式会社小林三之助商店

株式会社イシカワ

明和産業株式会社

吉村製材株式会社

大日産業株式会社

山岸株式会社

特定非営利活動法人 萌

東陽木材興業株式会社